

かんぴょうを利用した 栃木県民の健康増進

国際医療福祉大学

年齢軸生命機能解析学分野

2026年度中間報告



内容

1. 栃木県健康状態
2. かんぴょうの血糖値に対する効果
3. 活動の概要
4. 具体的な活動

1. 栃木県健康状態

栃木県の生活習慣と糖尿病患者数

栃木県民の生活習慣の特徴

①肥満が多い

男性34.5%

女性24.3%

②1日の歩数が少ない

男性6510歩(目標：8000歩以上)

女性5637歩(目標：7000歩以上)

(令和4年度県民健康・栄養調査)

③特定健康診査実施率60.8%

目標は70%

(令和5年度 厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導・メタボリックシンドロームの状況」)



糖尿病患者人口

栃木県：約10万7千人
(栃木県民人口188万2千人)

令和5年患者調査

I型・II型糖尿病ともに
現在根本的な治療法はない



2. かんぴょうの血糖値に対する効果

かんぴょうが血糖値降下作用を持つ効果の発見

かんぴょうの糖尿病発症に対する効果の検討

野村真由、土井穂乃香、稲川輝、佐藤妃菜、工藤真希、浜田和子、浜田俊幸

国際医療福祉大学 薬学部 年齢軸生命機能解析学分野

第146回日本薬学会年会， 2026年 3月28日 大阪 関西大学



かんぴょう

● かんぴょうについて

ユウガオ（ウリ科）の果実を細長く帯状にむいて、天日干しにした乾物。**豊富な水溶性食物繊維**を含むため、**血糖値の急激な上昇を防ぐ**とされている。

かんぴょうは食物繊維だけでなくカリウム、カルシウム、マグネシウムなどを豊富に含んでいる。



かんぴょう

● 栃木県のかんぴょう生産の現状

栃木県のかんぴょう生産は全国の99%以上を占めており、国内生産のほとんどを生産している（生産量日本一）。栃木県壬生町は「かんぴょう作り始まりの地」とされ、江戸時代から生産が続いており、その周辺の下野市や小山市などにも生産が広がり、かんぴょう専門農家や加工業者、卸売業者も集まっている。しかしながら近年、**かんぴょう生産者が激減しており、かんぴょう業界の衰退が懸念される**。さらに栃木県での**かんぴょう消費量は、多くの家庭で口にすることが少ない**。

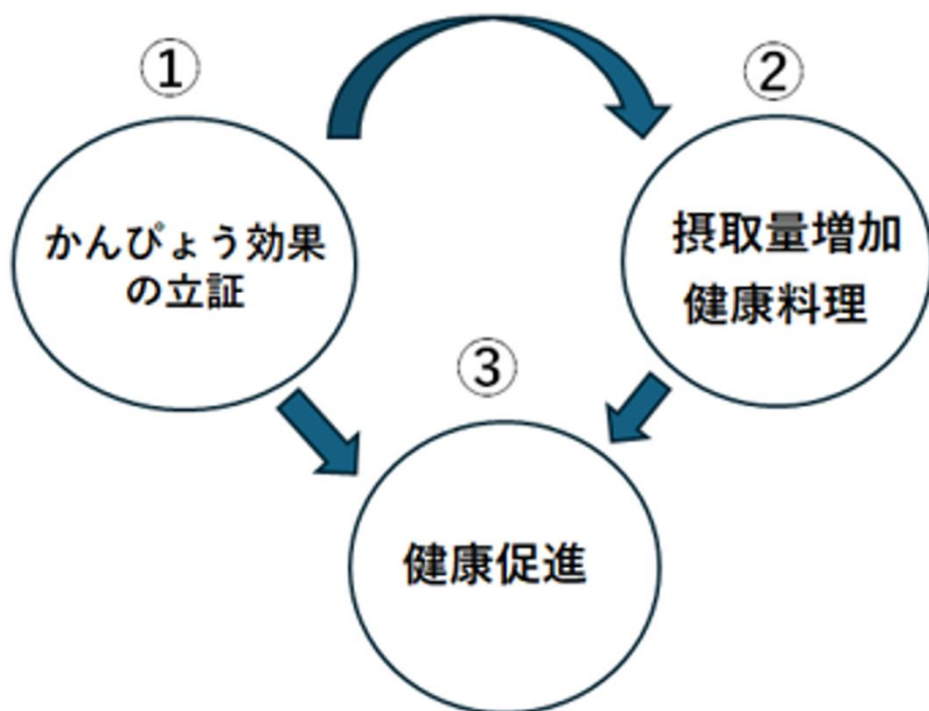


小山市のユウガオ栽培畑

3.活動の概要

栃木県健康問題解決の一つとして、かんぴょう摂取による血糖値の正常化促進および糖尿病症状改善を、地域団体、大学、行政で連携して行う。

かんぴょうを利用した栃木県民の健康増進



事業1・かんぴょう効果の立証

かんぴょうの体への効果を科学的に立証し、科学的データを蓄積する

事業2・かんぴょう健康効果を利用したかんぴょう摂取量増加および健康料理の普及

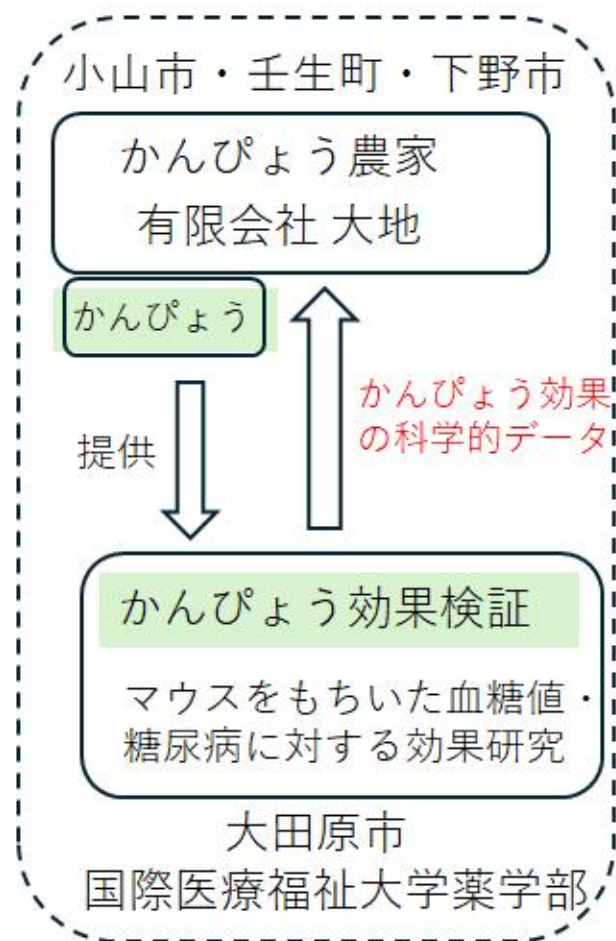
大学は、かんぴょうを使用した健康料理のレシピ開発のための情報を提供し、共同で開発していく

事業3・健康促進

栃木県でのかんぴょう普及。
行政のホームページ掲載やポスター制作、
定期健診・健康診断の呼びかけなど

3.活動の概要

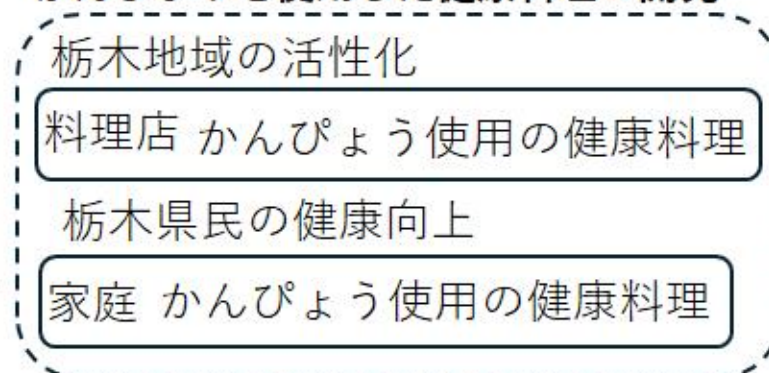
① かんぴょう効果の立証



科学的データに
基づくかんぴょう
健康レシピの開発

② かんぴょう摂取量増加

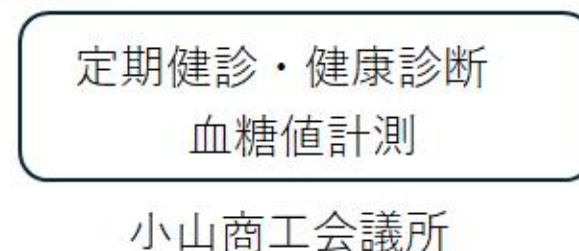
かんぴょうを使用した健康料理の開発



検診促進

食生活の改善
情報提供

③ 健康促進



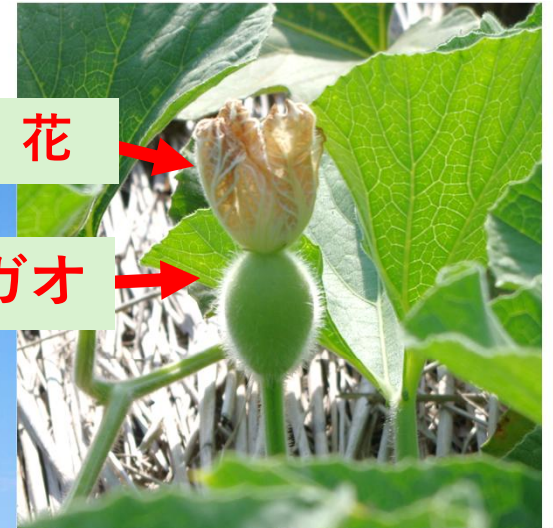
4. 具体的な活動

夕顔栽培法の見学 かんぴょう作製の大変さを知る

栃木県小山市 ユウガオ栽培畑



大学地域連携活動



4. 具体的な活動

事業1・かんぴょう効果の立証

小山農家

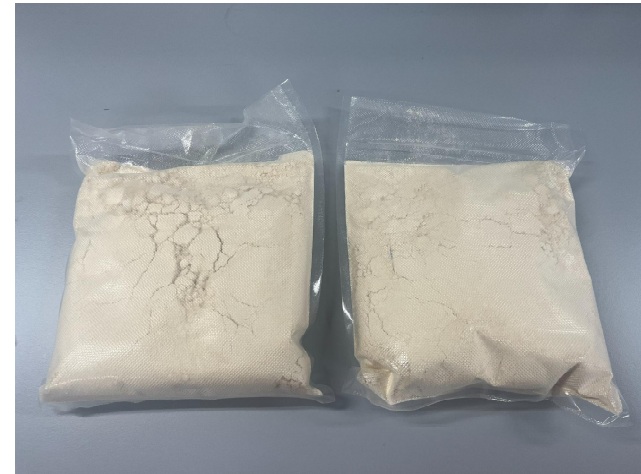
栃木県小山市 ユウガオ栽培畑



粉碎



粉碎したかんぴょうパウダー



国際医療福祉大学

かんぴょうパウダーから固形餌へ調整

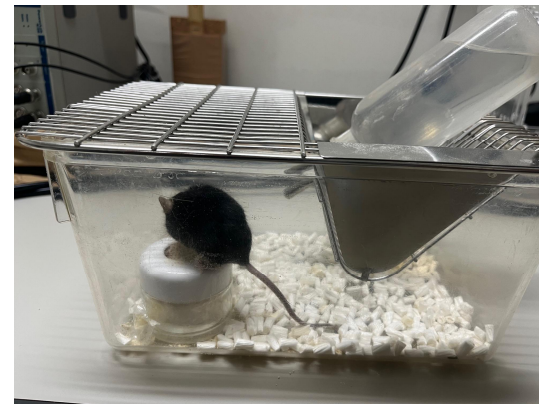


かんぴょう固形餌作製

大学へ郵送

血糖値・糖尿病に対する効果を検証

マウスへ給仕



かんぴょう（小山産）の糖尿病進行・重篤化抑制効果の検証

学会や国際科学雑誌にかんぴょうの効果を発表し、かんぴょう効果の科学的裏づけの基盤をつくる。



かんぴょう関連食品に付加価値
(機能性表示食品や特定保健用食品へ)

● 第70回 日本薬学会関東支部大会 2026年9月12日

かんぴょうがSTZ誘発1型糖尿病モデルマウスの病態進行に及ぼす影響

菊池紘明、大須賀颯、酒井裕也、橋本莉子、浜田和子、浜田俊幸

毛の時計遺伝子Per1を用いた糖尿病未病段階の評価と早期介入の可能性

大須賀颯、菊池紘明、酒井裕也、橋本莉子、浜田俊幸、浜田和子

● 第154日本薬理学会 関東部会 (防衛医科大学校) 2026年6月27日

I 型糖尿病進行および重篤化に対するかんぴょうの効果に関する研究

菊池 紘明, 大須賀 颯, 酒井 裕也, 橋本 莉子, 浜田 和子, 浜田 俊幸

糖尿病未病段階の時計遺伝子発現解析に関する研究

大須賀 颯, 菊池 紘明, 橋本 莉子, 酒井 裕也, 浜田 和子, 浜田 俊幸

4. 具体的な活動 進行中

事業2・かんぴょう健康効果を利用したかんぴょう摂取量増加および健康料理の普及

干瓢の卵とじ 栃木県伝統料理

農林水産省ホームページより



かんぴょううどん・ラーメン

道の駅 思川(小山市)



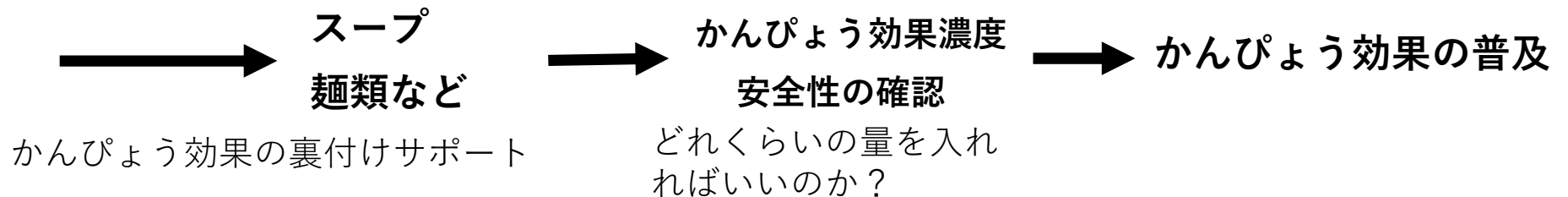
かんぴょうアイス

道の駅 思川(小山市)



かんぴょう効果の科学的根拠の裏付け提供

事業1・大学の研究成果として かんぴょうは水に溶かした水溶性物質および粉を固めた固形物質のどちらも血糖値降下作用および糖尿病の進行に抑制効果を持つ傾向（現在 データを取得中）を確認。



科学的根拠に基づくかんぴょうを使用した健康レシピを今後開発していく予定

栃木県は野菜の摂取量が低いので、かんぴょう入りドレッシングも開発する予定

4. 具体的な活動

事業3・健康促進

進行中

小山商工会議所・料理店などのホームページに掲載する予定
事業1のかんぴょうの効果ホームページで普及していく。
ホームページにかんぴょう料理の料理動画などを入れる予定
かんぴょう農家でのかんぴょう作製など紹介していく

現在 かんぴょう普及活動のホームページを作成中

The screenshot shows a web browser window with the URL https://maiebusaito-yk135o.cms.webnode.jp/?&ref=HubspotOnboardingActivation&utm=HubspotOnboardingActivation&utm_campaign=.... The website is titled "マイウェブサイト" (My Website) and features a header with the text "かんぴょうを利用した栃木県民の健康増進" (Improving the health of栃木県 residents using canpyou). The main content area includes a large image of four people standing in a field, with the text "かんぴょうを食べよう!" (Let's eat canpyou!) overlaid. Below this, there are smaller images of canpyou plants and a canpyou fruit. The website is built using Webnode, as indicated by the "webnode" logo in the header. The footer contains the text "かんぴょう健康増進プロジェクト" (Canpyou Health Promotion Project) and a paragraph of text describing the project's goals and activities. The text mentions that 99% of canpyou production in Japan is in 栃木県 (Tochigi Prefecture), but the number of producers is decreasing, and the health of producers is a concern. It also mentions that the consumption of canpyou in 栃木県 is low, and the risk of diabetes is high. The project aims to improve the health of residents by promoting canpyou consumption and providing information about its health benefits.

マイウェブサイト

webnode

かんぴょうを利用した栃木県民の健康増進

かんぴょうを食べよう!

かんぴょうの効果を知る

かんぴょう健康増進プロジェクト

栃木県のかんぴょう生産は全国の99%以上を占めており、国内生産のほとんどを生産していますが、かんぴょう生産者は年々減少しており、かんぴょう農家、加工業者、卸売業者の衰退が懸念されています。さらに栃木県でのかんぴょう消費量は、多くの家庭で口にするのが少ない状況があります。また栃木県は肥満が多く、特定健康診断実施率が低い、糖尿病発症の危険率が高い。上記2つの問題を解決するにあたり、本事業では、かんぴょうを利用した栃木県民の健康増進を行います。私たちは、かんぴょうが血糖値を降下させる作用をもち、糖尿病の進行を抑える効果を持つことを発見しました。かんぴょうに科学的に立証した健康データを付加し、小山市、壬生町、下野市を中心にかんぴょう健康レシピおよびか